

上川地域における木質バイオマスの安定供給に向けた取組

上川中部森林管理署（上川北部森林管理署・上川南部森林管理署・空知森林管理署北空知支署）

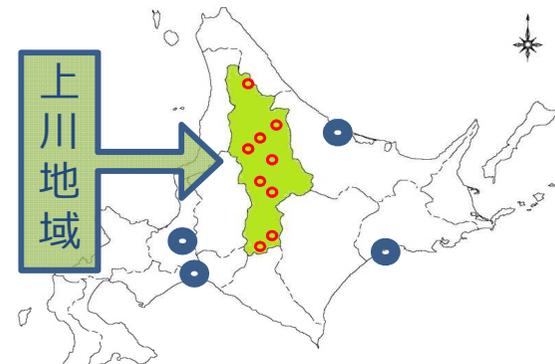
【目的】

近い将来には供給量不足が懸念されることから、「上川管内木質バイオマス安定供給協議会」の動向を踏まえつつ、木質バイオマスを安定的に供給するための仕組みづくりを目指した検討・取組を行う。

<北海道森林管理局>
上川北部森林管理署
上川中部森林管理署
上川南部森林管理署
空知森林管理署北空知支署



<上川総合振興局>
産業振興部林務課
南部森林室
北部森林室
木質バイオマス推進室



【平成27年度重点取組】

- 共通：局HPへの木質バイオマス発生情報掲載件数の増加
木質バイオマス資源の安定供給及び伐採搬出コスト削減のため立木販売団地の検討
- 上川北部署：伐採搬出現場における木質バイオマス原料の集荷方法の調査・検証を実施
- 上川中部署：民有林への列状間伐普及のため民国連携による「列状間伐現地研修会」を開催
- 上川南部署：雪氷乾燥システム・バイオマス対応型フォワードの運用方法の検討
- 北空知支署：地域内の木質バイオマス需要動向の把握及び他地区の取組の情報提供 等

- 木質バイオマス大規模発電施設稼働予定
- 木質バイオマスエネルギー利用施設



上川中部森林管理署

【平成27年度の取組状況】

<各署共通取組事項>

- 木質バイオマス発生情報
13件掲載し9件販売。
- 立木販売団地の検討・実施
伐採計画の変更により、木質バイオマス資源向けを想定した団地として、間伐面積832haを予定。
(材積31,500m³)

●民国連携による「列状間伐現地研修会」の開催

目的 木質バイオマス資源の低コストな安定供給に向けて、民有林では列状間伐の普及していないことから、研修会において列状間伐の事例や技術の普及を提案。

内容 市町村、森林組合、指導林家等を対象に、室内研修で国有林における列状間伐のイメージを説明し、現地研修では今年度実施した初回間伐の箇所及び初回列状間伐から10年経過した林分において、ハーベスタを使用した2回目の列状間伐実施箇所での意見交換等を実施。

結果 意見交換の中で「小面積の私有林では、列状間伐が難しい」「定性から列状への転換に対して森林所有者の理解が必要である」という意見の一方「列状間伐を見て理解が深まった」「初回間伐では、列状を検討してみたい」という前向きな意見があり、列状間伐の普及に向けて一歩前進した。



●安定供給に向けた情報収集

研修会等に参加する中で「間伐が進まない」という状況があったため、林業事業者等へのアンケート調査等を実施し詳細な状況把握を行ったところ「森林所有者の列状間伐への不信感」「伐倒作業にハーベスタを利用していない」等の実態がわかり、今後、木質バイオマス資源の利用に向けて、列状間伐のコストや効果を具体的に説明していくことが重要と認識しています。

【これまでの成果と今後の取組】

- ・HPへの木質バイオマス発生情報掲載により、一定の成果が上がっているところであるが、更に掲載・販売件数増加に向けた取組が必要。
- ・木質バイオマス資源向けを想定した立木販売団地（間伐）については、平成28年度から販売予定。
- ・各署等の重点取組事項については、引き続き関係機関との連携を図りながら実施予定。